

全建総連 支援対策本部ニュース(No.9)

全建総連 東日本大震災支援対策本部

宮城班からの報告

宮城班は勝野部長、小林部長、松葉書記の編成。17日空路で庄内空港に入り、18日朝からバスを乗り継いでお昼過ぎに仙台駅に到着しました。経由地である庄内では山形県連・三浦委員長、田川建労・重原事務局長から、山形では山形県建設国保相田事務局長、県連・佐藤書記が出迎え「山形県内でもガソリンがほとんどなく、すぐにも動きたいがまだ動けない。役に立てる時が来たら全力で手助けしたい」との熱い思いを受けました。

仙台駅周辺の様子は、ビルの倒壊など大きな被害は出ていないものの、タイルの落下などで歩道がふさがれているところがあり、営業している店舗もまばら。何よりも生活物資不足が深刻で、営業を行っている店舗では長蛇の列があちらこちらで見られました。

宮城県連事務所が入っている宮城県建設国保会館は外壁タイルの落下が少し見える程度で、水道も昨日から開通しているとのこと。

県連事務所到着後にさっそく、県連・国保合同の対策会議が行われました。県連からは、八木副会長、日下幹事長、佐藤副幹事長、櫻井事務長、国保からは鬼沢理事長、阿部課長代理、久保田職員が出席。

山崎会長が出席できないため、八木副会長から全建総連に対するお礼とこれから一致団結して頑張っていく決意が述べられました。



・宮城県連に届けた緊急の支援物資

組合員の被害状況については、役員については、被災当日に国保会館で国保組合会が行われていたため、安否はほぼ確認できたものの、沿岸部の地域では被害状況はま

ったくつかめていないのが現状です。

会議では、県連・国保合同の支援対策本部を立ち上げていくことを確認。連絡を一本化して対応していくこととし、全組合員の安否確認を第一に行っていくことを確認しました。

また、会議中に郡和子衆議院議員が訪れ、「人命救助から復興に向けて舵を切らねばならない。皆さんには不眠不休で動いてもらうことになるかもしれないが、何とかお願いしたい。要望があれば政府にしっかり届けていく」と激励しました。

また、全建総連からは当座の支援としてお見舞い金 100 万円と、水・食料などをお渡しした。

今後はさっそく、3 月 20 日に設置後最初の支援対策本部会議を行い、対応について協議し、具体的な行動に移していきます。

岩手班からの報告

18 日朝 6 時に県連事務所出発、8 時 30 分に宮古組合事務所到着。現地では鈴木組合長はじめ役員さん 5 人が出迎え。

話をしたあと、二組に別れて被害の大きかった地域の組合員さんを探して避難所を訪問した。

訪問した役員さんを見つけて泣きながら走ってくる組合員さんもいた。

避難所は、どこも寒く衛生上の問題も深刻化しつつある。今、特に欲しいのは下着だそうです。

被災現場は筆舌に尽くしがたい惨状です。

現地の役員さんは、団結して頑張っています。頭が下がります。



・瓦礫の山で埋め尽くされた宮古市内

京都建労からの報告

建材品薄で仕事の先行きに不安感

【洛南】16日、支部四役緊急専門部長会議をひらき、27日の街頭募金の実施を決定しました。街頭募金の結集先について『地元自治体に持っていくのが好ましい。市民の理解も得られる』との意見が大勢を占める。事務所に設置した募金箱には、来訪した仲間らが『札のお金』を投入してくれる。30代の仲間は「早く現地で何か協力したい」と申し出も。

仲間からの情報では「メーカーがインターホン・電線の供給をストップするらしい。大工関係はコンパネが供給されない恐れがある。滋賀の住宅メーカーは週明けから棟上げをすべて中止するらしい」など。「被災地優先も理解できるが、仕事の先行きに

不安を抱かざるを得ない」との声も。

ガス工事職人、ライフライン復旧へ、週明けから仙台派遣

【右京】「27日の円山集会は中止」のビラを作成し、15日から全組合員訪問。22日からは班集会を順次開催し、救援募金の訴えを行う予定。ガス工事の仲間は「メーカーの依頼で来週から仙台に行くことになった」との話。被災地のライフライン復旧の要請か。

27日は区内2カ所で街頭募金。「重機を持っていきたい」仲間も

【下京】16日から始まっている分会総会で、「田辺委員長訴え」を読み合わせ・討議。27日の行動は、区内2カ所での街頭宣伝・救援募金行動を提起しています。事務所貸主の石工・西村さんから「重機を持っていきたいが…」との申し出がありましたが、「いまは無理。いましばらく待ってほしい」と応じています。

兵庫県連・阪神土建からの報告

足立委員長からの情報

現在、阪神間では合板の流通が完全停止の状態で、在庫を出し切った建材問屋の倉庫がガラガラになっています。

木材製品は今のところ通常通りで助かっています。

私の所でも取りあえず工事中の現場が完成するまでの材料を確保するので精一杯です。